

## 令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校 第5学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	基礎的な言語事項の習得 ・習った漢字を使用したり、書きたい文章を正しい語順で書いたりすることができていない時がある。	・自分の考えを書く場面を意図的に設定し、すでに習っている漢字は意識的に書く習慣を身に付けさせる。 ・書き方の例を提示し、形式的なところから書くことを始めさせる。	
社会	資料の活用能力の育成 ・グラフや表、写真などの資料を読み取り、その特徴や変化を捉え、それを記述する ・資料から読み取れる社会的事象を自分の言葉でまとめあげることが苦手な児童が多い。	・グラフや表、写真などから読み取った情報をもとに、根拠や解釈を示しながら、図や文章などで表現し説明することができるようにする。	
算数	基礎学力の定着 数学的な考え方の育成 ・答えに至るまでの過程を他者に説明すること	・過程を説明するにあたって、言葉だけでなく図や表、式を活用しながら思考の過程を提示できるような活動を増やす。	
理科	・これまでの生活経験を基に、実験や観察後の結果を予想し、その仮説に向かって課題に取り組むこと。 ・その実験の結果から見えることと、これまでの学習で学んだ知識をふまえて考えること。	・予想を立てる際に、必ずその根拠となる経験やこれまでの学習内容を書いたり、言ったりさせるようにする。 ・実験の結果を書く場所と、考察を書く場所を明確に分け、混在させないようにする。	
音楽	・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって表現をするための技能の育成 ・曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解し、曲全体を味わって聴く能力の育成。	・どのように演奏したいか思いや意図をもたせるような言葉かけをする。 ・様々な楽器を取り入れ、学習形態を工夫し、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて合わせる技能を高める。 ・感じ取った曲想などを基にしながら、それを生み出している音楽の構造に目をむけさせる。	
図画工作	・道具や材料などの扱い方を習得し、用途に応じて自分なりに使い分け力の育成 ・テーマを理解して、自分なりの発想で表現を工夫しようとする力の育成	・これまで使っていた絵の具やパスなどの描画材・彫刻刀やペンチなどの応用的な使い方について学ぶようにする。 ・思いを話し合って共有したり、途中経過でアイデアを交換したりする時間をとる。	
家庭	・実生活での経験の差が、実習や知識の差に強くなってしまう。	・授業内での話の中で実生活に当てはめた事例や、児童からの経験を積極的に取り入れる。	
体育	・自己やグループの課題を見つけ、その解決のための方法や活動を工夫しようとする態度の育成 ・基本的な技能を向上させようとする思考力の育成	・競技の練習時間には、話し合いやアドバイスをしあったり、お互いの動きを見あったりするための時間を設ける。	
外国語	・様々な表現方法を活用する力の育成	・ALTをうまく活用し、教科書にない単語等も広く児童に提示できるようにする。	
道徳	・学習している内容と、自分の経験をつなぎ合わせる際に考える内容がずれてしまうことがある。	・自己への振り返りを行う前に、改めてその時間の学習ではどのような内容について考えを深めてほしいのか確認をする。また、板書等で視覚的に提示する。	
総合的な学習の時間	・課題に取り組んだ結果の表現方法を限定したことで、抵抗感を示す児童がいた。	・タブレットのみでの活動ではなく、図書資料や紙媒体での表現方法も併せて提示していく。	